RESONAC

ポリマーセメント系塗膜防水材

セレタック®
Ceretac

[地上部位用セレタック®G]

本製品は、JCQAによりISO9001認証された事業所により管理されています

Resonac Kenzai Corporation

建物の安全性を考えるということ。
それは住みよい街づくりにも反映しているのだと
私達は思います。

ひび割れや水漏れのない清潔感あふれる建物。
それは耐久性だけではなく、美しい外観づくりにも役立っているのです。
使う人にも地球にも優しく。
これからも、私達は建物のことを追求していきます。

クラック追随性

コンクリートに微細なひび割れが発生しても、セレタック防水層が伸長し防水機能を維持します。

施工性

ローラー、刷毛、コテ、吹き付けで施工ができます。材料の調合は粉体、混和液が所定混合比率にセット化されているので正確で簡単です。

付着強さ

浸透性に優れた超微粒子カチオンアクリル樹脂系のプライマーによりコンクリート、モルタル下地に対して接着効果を高めます。鉄板、ステンレス板、エポキシ床材等とも良好な付着強さが得られます。

耐久性

耐アルカリ性、耐候性、耐摩耗性に優れます。

安全性

・環境に配慮した製品です。
ホルムアルデヒド放散等級分類
F☆☆☆☆ 対応（日本建築仕上材工業会登録）

・厚生労働省令の水質基準に対応しています。（セレタック®JWA）

対応規格

セレタック®G

●日本建築学会
建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022
M-103、104-2022　C-PF仕様
ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006
ポリマーセメント系塗膜防水材品質規格
●UR都市機構
公共住宅建設工事共通仕様書
機材の品質判定基準（平成16年度版）
無機質系塗膜防水材品質基準

セレタック®S

●日本建築学会
建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022
M-103 -2022　C-PU仕様
ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006
ポリマーセメント系塗膜防水材品質規格

セレタック®JWA

●厚生労働省令　水質基準
●日本建築学会
建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022
M-103 -2022　C-PU仕様

ホルムアルデヒド放散等級分類

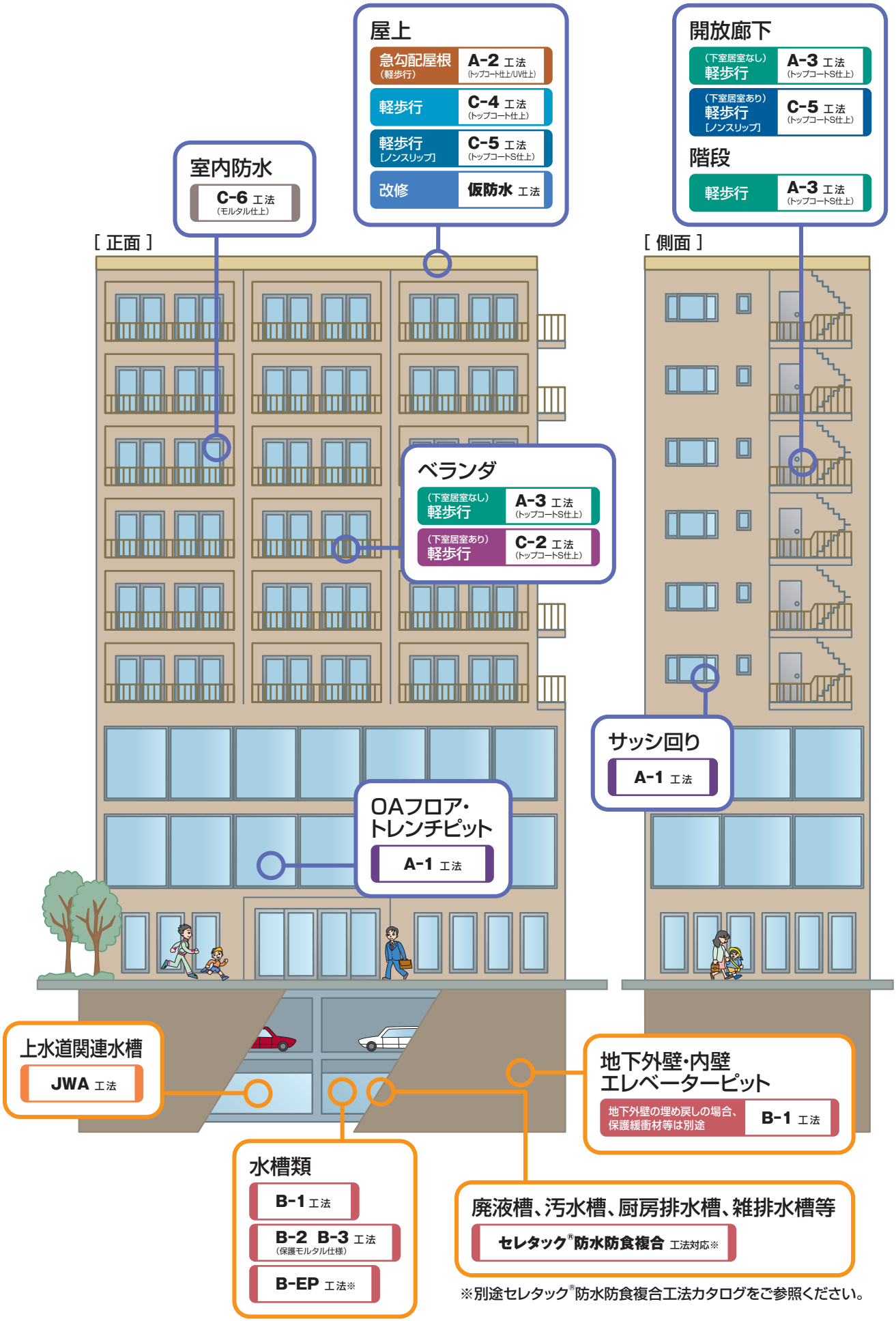
日本建築仕上材工業会登録	
商品名	セレタック®G
表示登録番号	0702017
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	株式会社レゾナック建材
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	https://www.nsk-web.org/

日本建築仕上材工業会登録	
商品名	セレタック®S
表示登録番号	0602018
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	株式会社レゾナック建材
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	https://www.nsk-web.org/

日本建築仕上材工業会登録	
商品名	ショウワカチオンプライマー
表示登録番号	0702018
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	株式会社レゾナック建材
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	https://www.nsk-web.org/

日本建築仕上材工業会登録	
商品名	セレタック®トップコート
表示登録番号	0305314
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	株式会社レゾナック建材
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	https://www.nsk-web.org/

セレタック®は、あらゆるところで活躍しています。



※別途セレタック®防水防食複合工法カタログをご参照ください。

意外にも身近なところで。

私たちが気が付かない場所でもセレタック®は活躍しているのです。
快適に暮らせる環境を創るために、優しく、力強く、その優れた性能を発揮しています。

セレタック®防水工法概要

■標準仕様

工法名	工程	塗布量(kg／m²)		適用部位	日本建築学会対応仕様	防水層平均厚み(mm)
A-1工法	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	サッシ回り、トレンチピット OAフロア、笠木、パラペット回り他	施工指針(案)※1 PA−1	0.8以上
	防水層	セレタック®G	2.00			
C-1工法 (トップコート別途)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	ベランダ（下階居室あり)他	施工指針(案) PA−2	1.1以上
	防水層 +補強材	セレタック®G	2.60			
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m²			
C-3工法 (トップコート別途)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	屋上（軽歩行) 開放廊下（下階居室あり)他	施工指針(案) PA−3 JASS 8※2 M-103、104-2022 C−PF仕様	1.6以上
	防水層 +補強材	セレタック®G	3.60			
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m²			
B-1工法	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	水槽類（受水槽、防火水槽、雨水貯留槽)他 地下外壁（埋め戻しの場合、保護緩衝材等は別途) 地下内壁、エレベーターピット他	施工指針(案) PB−1 JASS 8 M-103-2022 C−PU仕様	1.1以上
	防水層	セレタック®S	2.50			

■保護･仕上仕様

工法名	工程	塗布量(kg／m²)		適用部位	日本建築学会対応仕様	防水層平均厚み(mm)
A-2工法 (トップコート仕上げ/UV仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	ひさし、急勾配屋根他	施工指針(案) PA-1 (軽歩行仕上げ)	0.8以上
	防水層	セレタック®G	2.00			
	保護･仕上げ	セレタック®トップコート/セレタック®トップコートUV	0.20/0.30※3			
A-3工法 (トップコートS仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	ベランダ（下階居室なし) 開放廊下（下階居室なし) 階段 他	施工指針(案) PA−1 (軽歩行仕上げ)	0.8以上
	防水層	セレタック®G	2.00			
	保護･仕上げ	セレタック®トップコートS	1.00			
C-2工法 (トップコートS仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	ベランダ（下階居室あり)他	施工指針(案) PA−2 (軽歩行仕上げ)	1.1以上
	防水層 +補強材	セレタック®G	2.60			
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m²			
	保護･仕上げ	セレタック®トップコートS	1.00			
C-4工法 (トップコート仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	屋上（軽歩行)他	施工指針(案) PA−3 JASS 8 M-103、104-2022 C−PF仕様 (軽歩行仕上げ)	1.6以上
	防水層 +補強材	セレタック®G	3.60			
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m²			
	保護･仕上げ	セレタック®トップコート	0.20			
C-5工法 (トップコートS仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	屋上（軽歩行) 開放廊下（下階居室あり)他	施工指針(案) PA−3 JASS 8 M-103、104-2022 C−PF仕様 (軽歩行仕上げ)	1.6以上
	防水層 +補強材	セレタック®G	3.60			
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m²			
	保護･仕上げ	セレタック®トップコートS	1.00			
C-6工法 (モルタル仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	浴室　厨房　トイレ他	施工指針(案) PA−3 JASS 8 M-103、104-2022 C−PF仕様 (モルタル仕上げ)	1.6以上
	防水層 +補強材	セレタック®G	3.60			
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m²			
	保護･仕上げ	ショウテック早強#200(急硬タイプ)	9.60			
		ペタルスWP(専用混和材)	0.48			
B-2工法 (保護モルタル仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	水槽類(受水槽、防火水槽、雨水貯留槽)他 地下外壁、エレベーターピット他	施工指針(案) PB−1 JASS 8 M-103-2022 C−PU仕様 (モルタル仕上げ)	1.1以上
	防水層	セレタック®S	2.50			
	保護･仕上げ	ショウワ厚付(標準硬化タイプ)	5.80			
B-3工法 (保護モルタル仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15			
	防水層	セレタック®S	2.50			
	保護･仕上げ	ショウテック早強#200(急硬タイプ)	9.60			
		ペタルスWP(専用混和材)	0.48			

■上水道仕様※1

工法名	工程	塗布量(kg／m²)		適用部位	日本建築学会対応仕様	防水層平均厚み(mm)
JWA工法	プライマー	ショウワJWプライマー(3倍液)	0.15	上水道関連水槽 (飲料水用水槽、浄水場、配水池)他	施工指針(案) PB-1 JASS8 M−103−2022 C−PU仕様	1.1以上
	防水層	セレタック®JWA	2.50			

打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタック®クロスを使用する場合は、防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。(B-1工法、JWA工法)

■仮防水仕様

工法名	工程	塗布量(kg／m²)		適用部位	日本建築学会対応仕様	防水層平均厚み(mm)
仮防水工法	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15	コンクリート、モルタル、アスファルト防水撤去下地、塩化ビニル樹脂系シート撤去下地、ゴム系シート撤去下地、ウレタン塗膜防水下地	—	—
	防水層	セレタック®G	1.00			

■ケイ酸質系塗布防水材+ポリマーセメント系塗膜防水材仕様

工法名	工程	塗布量(kg／m²)		適用部位	日本建築学会対応仕様	防水層平均厚み(mm)
B-DS工法	防水層	セレガードDS®	1.50	【背面水圧対応】 地下内壁、地下ピット、エレベーターピット、受水槽、防火水槽、雨水槽	JASS8 C-SUP	—
	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15		JASS8 C-PU	1.1以上
	防水層	セレタック®S	2.50			

※1 日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説2006」
※2 日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」
※3 セレタック®トップコートUVを使用した場合の塗布量です。

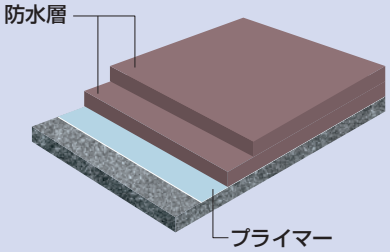
セレタック®防水工法一覧

地上部位

セレタック®防水工法は、日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」および日本建築学会「ポリマ

【PA-1仕様】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」

セレタック®
A-1 工法



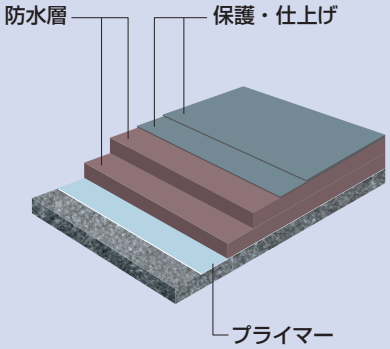
適用部位 サッシ回り、トレンチピット、OAフロア、笠木、パラペット回り他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00
3			1.00

★防水層標準塗布量2.0kg/m²／平均厚み（硬化後）0.8mm以上

【PA-1仕様+軽歩行仕上げ】「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」

セレタック®
A-2 工法（トップコート仕上／UV仕上）



［トップコート仕上］

適用部位 ひさし、急勾配屋根　他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00
3			1.00
4	保護・仕上げ	セレタック®トップコート	0.10
5			0.10

★防水層標準塗布量2.0kg/m²／平均厚み（硬化後）0.8mm以上

［UV仕上］ トップコートUVは、水系アクリル・ウレタン樹脂を使用し耐候性を高めます。

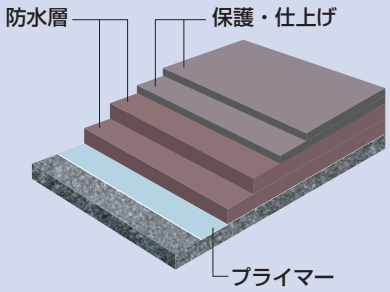
適用部位 ひさし、急勾配屋根　他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00
3			1.00
4	保護・仕上げ	セレタック®トップコートUV	0.15
5			0.15

★防水層標準塗布量2.0kg/m²／平均厚み（硬化後）0.8mm以上

【PA-1仕様+軽歩行仕上げ】「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」

セレタック®
A-3 工法（トップコートS仕上）



適用部位 ベランダ（下室居室なし）、開放廊下（下室居室なし）、階段他

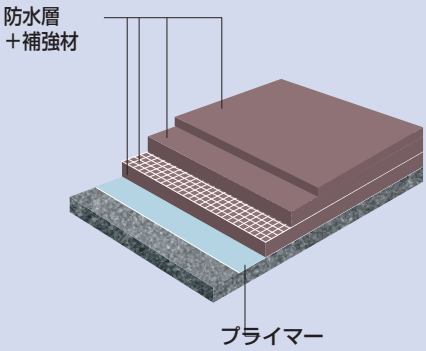
工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00
3			1.00
4	保護・仕上げ	セレタック®トップコートS	0.50
5			0.50

★防水層標準塗布量2.0kg/m²／平均厚み（硬化後）0.8mm以上

ーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」に対応しています。

【PA-2仕様】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」

セレタック® C-1 工法（トップコート別途）



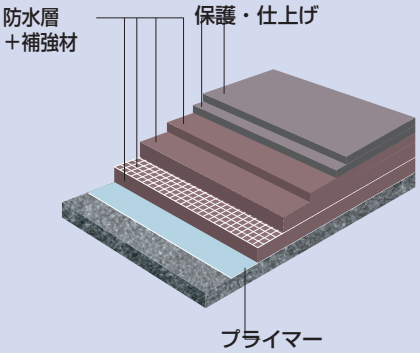
適用部位 ベランダ（下階居室あり）他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層＋補強材	セレタック®G	1.30
		セレタック®クロス（補強材）	1.1m²
		セレタック®G	0.70
3		セレタック®G	0.60

★防水層標準塗布量2.6kg/m²／平均厚み（硬化後）1.1mm以上

【PA-2仕様+軽歩行仕上げ】「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」

セレタック® C-2 工法（トップコートS仕上）



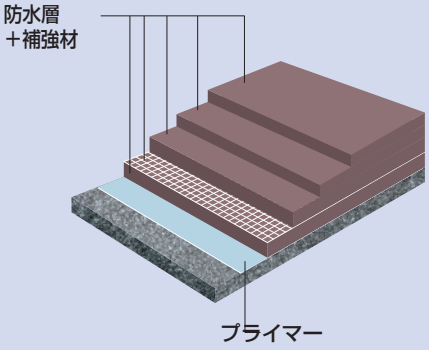
適用部位 ベランダ（下階居室あり）他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層＋補強材	セレタック®G	1.30
		セレタック®クロス（補強材）	1.1m²
		セレタック®G	0.70
3		セレタック®G	0.60
4	保護・仕上げ	セレタック®トップコートS	0.50
5			0.50

★防水層標準塗布量2.6kg/m²／平均厚み（硬化後）1.1mm以上

【PA-3仕様】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」
【C-PF仕様】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」

セレタック® C-3 工法（トップコート別途）



適用部位 屋上（軽歩行）、開放廊下（下室居室あり）他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層＋補強材	セレタック®G	1.30
		セレタック®クロス（補強材）	1.1m²
		セレタック®G	0.70
3		セレタック®G	0.80
4			0.80

★防水層標準塗布量3.6kg/m²／平均厚み（硬化後）1.6mm以上

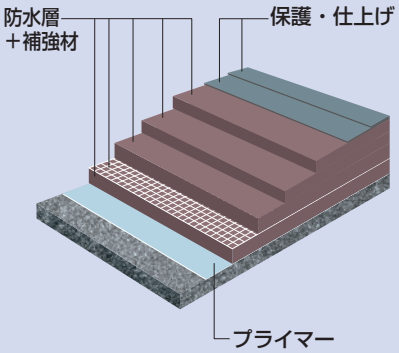
セレタック®防水工法一覧

地上部位

セレタック®防水工法は、日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」および日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」に対応しています。

【PA-3仕様+軽歩行仕上げ】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」
【C-PF仕様+軽歩行仕上げ】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」

セレタック® C-4 工法（トップコート仕上）



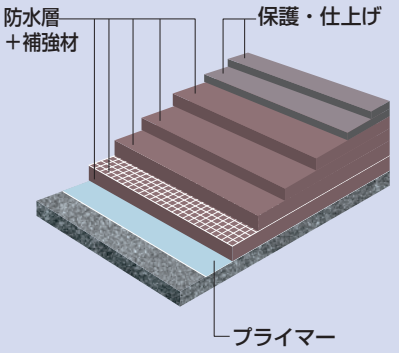
適用部位 屋上（軽歩行）他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層＋補強材	セレタック®G	1.30
		セレタック®クロス（補強材）	1.1m²
		セレタック®G	0.70
3		セレタック®G	0.80
4			0.80
5	保護・仕上げ	セレタック®トップコート	0.10
6			0.10

★防水層標準塗布量3.6kg/m²／平均厚み（硬化後）1.6mm以上

【PA-3仕様+軽歩行仕上げ】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」
【C-PF仕様+軽歩行仕上げ】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」

セレタック® C-5 工法（トップコートS仕上）



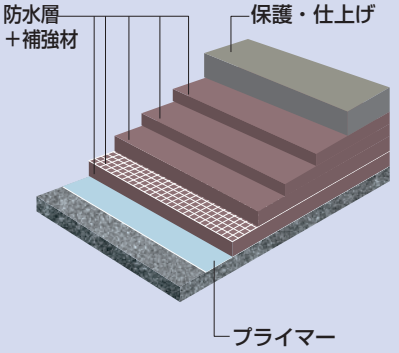
適用部位 屋上（軽歩行）、開放廊下（下階居室あり）他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層＋補強材	セレタック®G	1.30
		セレタック®クロス（補強材）	1.1m²
		セレタック®G	0.70
3		セレタック®G	0.80
4			0.80
5	保護・仕上げ	セレタック®トップコートS	0.50
6			0.50

★防水層標準塗布量3.6kg/m²／平均厚み（硬化後）1.6mm以上

【PA-3仕様+モルタル仕上げ】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」
【C-PF仕様+モルタル仕上げ】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」

セレタック® C-6 工法（モルタル仕上）



適用部位 浴室、厨房、トイレ、他

モルタル層　厚み5mm

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層＋補強材	セレタック®G	1.30
		セレタック®クロス（補強材）	1.1m²
		セレタック®G	0.70
3		セレタック®G	0.80
4			0.80
5	保護・仕上げ	ショウテック早強#200（急硬タイプ）	9.60
		ペタルスWP（専用混和材）	0.48

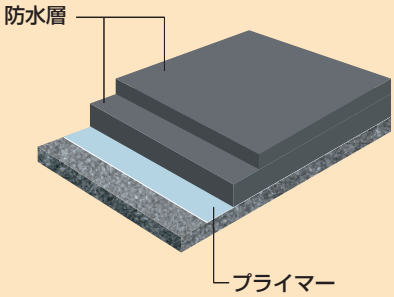
★防水層標準塗布量3.6kg/m²／平均厚み（硬化後）1.6mm以上
※ショウテック早強®200以外の製品を使用する場合は当社へご相談ください。

地下・水槽部位

セレタック®防水工法は、日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」および日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」に対応しています。

◎【PB-1仕様】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」
◎【C-PU仕様】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」

セレタック® B-1 工法



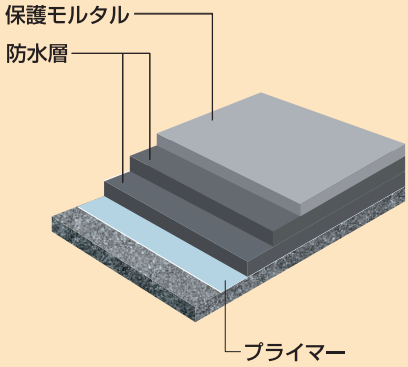
適用部位 水槽類　（受水槽、防火水槽、雨水貯留槽）他
地下外壁（埋め戻しの場合、保護緩衝材等は別途）
地下内壁、エレベーターピット他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®S	1.50
3			1.00

★防水層標準塗布量2.5kg/m²／平均厚み（硬化後）厚さ1.1mm以上
注）打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタック®クロスを使用する場合は、
防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。

◎【PB-1仕様+モルタル仕上げ】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」
◎【C-PU仕様+モルタル仕上げ】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」

セレタック® B-2 工法（保護モルタル仕上げ）



適用部位 水槽類　（受水槽、防火水槽、雨水貯留槽）他
地下外壁、エレベーターピット他

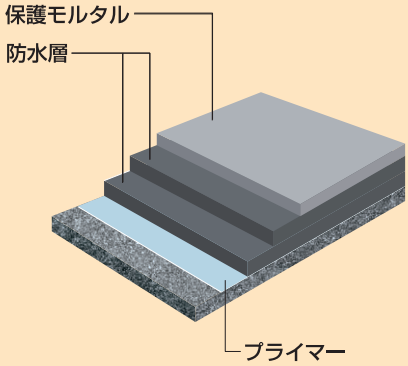
● B-2工法 保護モルタル種別（標準硬化タイプ）　保護モルタル層厚み　3mm

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®S	1.50
3			1.00
4	保護モルタル	ショウワ厚付	5.80

★防水層標準塗布量2.5kg/m²／平均厚み（硬化後）厚さ1.1mm以上
注）打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタック®クロスを使用する場合は、
防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。

◎【PB-1仕様+モルタル仕上げ】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」
◎【C-PU仕様+モルタル仕上げ】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」

セレタック® B-3 工法（保護モルタル仕上げ）



適用部位 水槽類　（受水槽、防火水槽、雨水貯留槽）他
地下外壁、エレベーターピット他

● B-3工法 保護モルタル種別（急硬タイプ）　保護モルタル層厚み　5mm

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®S	1.50
3			1.00
4	保護モルタル	ショウテック早強#200（急硬タイプ）	9.60
		ペタルスWP（専用混和材）	0.48

★防水層標準塗布量2.5kg/m²／平均厚み（硬化後）厚さ1.1mm以上
注）打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタック®クロスを使用する場合は、
防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。

セレタック®防水工法一覧

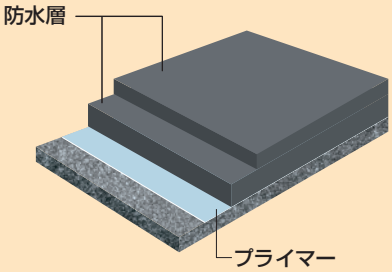
地下・水槽部位

セレタック®防水工法は、日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」および日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」に対応しています。

上水道仕様　（厚生労働省令水質基準対応）

○【PB-1仕様】日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」
○【C-PU仕様】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事2022」

セレタック® JWA 工法



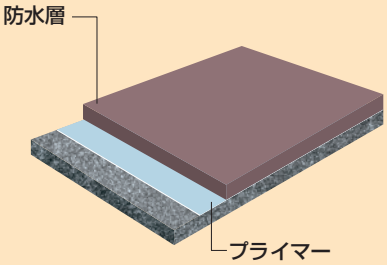
適用部位　上水道関連水槽（飲料水用水槽、浄水場、配水池）他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワJWプライマー（3倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®JWA	1.50
3			1.00

★防水層標準塗布量2.5kg/m²／平均厚み（硬化後）厚さ1.1mm以上
注）打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタッククロスを使用する場合は、
防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。

仮防水仕様

セレタック® 仮防水 工法



適用部位　仮防水（改修工事における既存防水撤去箇所※）
簡易防水（Pコン周り、打ち継ぎ）他

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00

※コンクリート、モルタル、アスファルト防水撤去下地、塩化ビニル樹脂系シート撤去下地、ゴム系シート撤去下地、ウレタン塗膜防水下地

【施工に関して】
既存防水撤去後のコンクリート下地が基本となります。レイタンスなどの脆弱部、粉塵、油脂類、汚れ、さび、突起物はサンディングなどにより除去、清掃してください。漏水箇所は止水処理を行ってください。また本防水ではないため、施工後は速やかに本防水を施工してください。

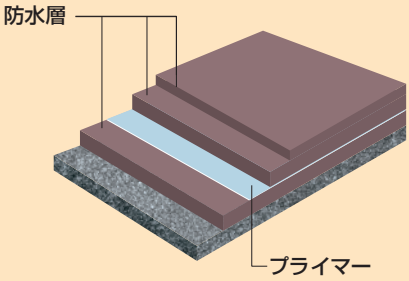
地下・水槽部位

セレタック®防水工法は、日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」および日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説2006」に対応しています。

ケイ酸質系塗布防水材＋ポリマーセメント系塗膜防水材仕様

- 【C-SUP仕様】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」M-301 2014（セレガードDS®）
- 【C-PU仕様】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022 」M-103-2022（セレタック®S）

セレタック B-DS 工法



適用部位 地下内壁、地下ピット、エレベーターピット、受水槽、防火水槽、雨水槽

工程	種　別	使用材料	標準塗布量（kg／m²）
1	防水層	セレガードDS®	1.50
2	プライマー	ショウワカチオンプライマー（2倍液）	0.15
3	防水層	セレタック®S	1.50
4			1.00

セレタック® 施工方法

各工法共通

1 下地処理（別途工事）

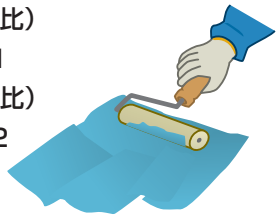
・ひび割れ・打ち継ぎ・コールドジョイント・ジャンカ・木コン・セパレーター・ドレン・管回りなどは補強塗りなどを行ってください。
・レイタンスなどの脆弱部・粉塵・油脂類・汚れ・さび・突起物はサンディングなどにより除去し、清掃を行ってください。
・漏水箇所は止水処理を行ってください。
・表面水（付着水・たまり水）は除去してください。下地の水分が飽和状態の場合、プライマーの下地への浸透に悪影響を及ぼす事があります。

各工法共通

2 プライマーの塗布

・ショウワカチオンプライマー2倍液※1（セレタック®JWA工法はショウワJWプライマー3倍液※2）をローラー、刷毛等で規定量を均一に塗布します。
・下地の吸い込み、乾燥が著しい場合は、追加塗布により調整してください。
・プライマーが硬化乾燥したら次工程に移ります。（硬化乾燥の目安　20℃で60分程度）

※1　混合比（重量比）
　　原液:水＝1:1
※2　混合比（重量比）
　　原液:水＝1:2



各工法共通

3 材料の調合

①撹拌用容器の中にセット単位、あるいは計量済みの混和液を入れます。
②混和液の比率に見合う粉体を徐々に投入しながら、均一な状態になるよう高速撹拌機で3分間混合します。
※（セレタック®G、セレタック®S、セレタック®JWAとも要領は同じです）

注意

＜材料の練り置きについて＞
気温が35℃以上の高温時や、強風時等には表面に皮張りが生じる事がありますので、ビニールシート等で表面を覆うなどの処置してください。また皮張りが生じた場合は水を加えずに皮張り部分のみ取り除き再撹拌してください。

＜セレタック®JWAについて＞
異物の混入を防ぐため、撹拌用容器は新しいものをご使用ください。
また撹拌機は十分に清掃したものをご使用ください。

施工上の注意

●各工法とも一度に規定量以上の厚塗は避けてください。硬化不良やひび割れの原因となります。
●気温が5℃以下及び35℃以上、湿度が85%以上の場合は施工を中止するか、適当な保温・採暖を行ってください。
●現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。

工法別（例）／A-3工法

4

「ベランダ、開放廊下、階段等」

セレタック®Gの塗布

①混練したセレタック®Gをローラー、刷毛、コテ、吹付け等でピンホール、塗りムラ等の無いように規定量を均一に塗布します。
●1回目塗布量（1.0kg／m²）
②4時間（20℃）経過後、1層目の表面硬化を確認後、2回目を塗布します。
●2回目塗布量（1.0kg／m²）
※（1回目が指触乾燥しており、材料が動かないことが確認できれば塗り重ねは可能です。）

トップコートSの塗布

①セレタック®G塗布後2日（20℃）以上養生してトップコートSを塗布します。
使用前にはよく撹拌してください。
塗りムラを避けるため2回塗りをします。
●1回目塗布量（0.5kg／m²）
②3時間（20℃）経過後、1層目の表面硬化を確認後、2回目を塗布します。
●2回目塗布量（0.5kg／m²）
※（1回目が指触乾燥しており、材料が動かないことが確認できれば塗り重ねは可能です。）

養生

2回目塗布後2日（20℃）以上養生してください。

工法別（例）／B-1工法

4

「水槽・地下外壁等」

セレタック® Sの塗布

①混練したセレタック®Sをコテ、ローラー、刷毛、吹付け等でピンホール、塗りムラ等の無いよう規定量を均一に塗布します。
●1回目塗布量（1.5kg／m²）
②16時間（20℃）経過後、1層目の表面硬化を確認後、2回目を塗布します。
●2回目塗布量（1.0kg／m²）
※（1回目が指触乾燥しており、材料が動かないことが確認できれば塗り重ねは可能です。）

注意

＜セレタック®JWAについて＞

異物の混入を防ぐため、コテについては十分に清掃したものをご使用ください。また、ローラー、刷毛は新しいものをご使用ください。

養生

水槽内部に施工した場合は、水張りまでは2回目塗布後、7日（20℃）以上養生してください。

塗膜の性能

■ポリマーセメント系塗膜防水材の品質

項　目			C-PF仕様（Aタイプ）		C-PU仕様（Bタイプ）		
			規格値	セレタック®G	規格値	セレタック®S	セレタック®JWA
全固形分(%)			表示値±3	77.2(表示値78)	表示値±3	79.9(表示値80)	81.5(表示値81)
硬化塗膜比重			表示値±0.1	1.5	表示値±0.1	1.7	1.6
引張強さ(N/mm²)			0.6以上	1.5	1.0以上	2.4	3.0
破断時の伸び率(%)			100以上	115	30以上	34	48
ゼロスパンテンション伸び量(mm)	標準		2.0以上	2.4	1.0以上	1.2	1.6
	劣化処理後	加熱処理	1.5以上	1.8	–	–	–
		アルカリ処理	1.5以上	2.0	1.0以上	1.1	1.3
付着強さ(N/mm²)	標準		0.5以上	1.2	0.7以上	2.1	2.8
	湿潤下地		0.5以上	1.2	0.7以上	2.1	2.0
	劣化処理後	加熱処理	0.5以上	1.8	–	–	–
		アルカリ処理	0.5以上	1	0.7以上	2.6	2.2
		浸水処理	0.5以上	1.2	0.7以上	1.8	2.1
透水性			透水量0.5g以下かつ漏水がないこと	0.0g 漏水がない	透水量0.5g以下かつ漏水がないこと	0.1g 漏水がない	0.0g 漏水がない

【試験方法】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」
JASS 8 M-103-2022 ポリマーセメント系塗膜防水材の品質試験方法による

■補強布を用いたポリマーセメント系塗膜防水材の品質

項　目			基準値	セレタック®G
ゼロスパンテンション伸び量(mm)	標準		3.0以上	5.8
	劣化処理後	加熱処理	2.0以上	3.0
		アルカリ処理	2.0以上	2.8
付着強さ(N/mm²)	標準		0.5以上	1.8

【試験方法】日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　JASS8 防水工事2022」
JASS 8 M-104-2022 補強布を用いたポリマーセメント系塗膜防水材の品質試験方法による
試験場所／一般財団法人日本塗料検査協会

■付着強さ

●各種下地との付着強さ

下地の種類	セレタック®G	セレタック®S	セレタック®JWA
鋼板(SS-400)	1.74	2.84	3.62
ステンレス板(SUS304)	1.43	2.87	4.10
ウレタン塗膜	1.18	—	—

【試験方法】
- 養生条件／23℃　50%RH
- 各種下地の表面をサンダーで目荒し後にセレタック®を塗布
  ウレタン塗膜は上塗り7日間養生後、
  表面をサンダーで目荒し後にセレタック®を塗布
  - セレタック®塗布量
    セレタック®G　2.0kg／m²
    セレタック®S　2.5kg／m²
    セレタック®JWA　2.5kg／m²
- セレタック®塗布後の養生期間　材齢7日
- 試験機器／建研式引張試験機

●保護・仕上モルタルとの付着強さ

モルタルの種類	セレタック®G	セレタック®S
ショウワ厚付	—	1.73
ショウテック早強#200	1.27	1.85

【試験方法】
- 養生条件／20℃　65%RH
- コンクリート歩道板にショウワカチオンプライマー2倍液(0.15kg／m²)塗布し、指触乾燥後にセレタック®を塗布
  セレタック®塗布後2日養生後にモルタルを塗り付け
- モルタル塗り付け後の養生期間　材齢7日
  - セレタック®塗布量
    セレタック®G　2.0kg／m²
    セレタック®S　2.5kg／m²
    セレタック®JWA　2.5kg／m²
- モルタル塗り付け厚さ
  ショウワ厚付(3mm)
  ショウテック早強#200(5mm)
- 試験機器／建研式引張試験機

■耐摩耗性

項　目		セレタック®G	セレタック®S	セレタック®JWA
摩耗量(g)	500回転	0.05	0.09	0.06
	1000回転	0.10	0.17	0.15

【試験方法】
- JISK7204に準拠
- 養生条件 20℃　65%RH
- セレタック®塗布後の養生期間　材齢28日
  - セレタック®塗布量
    セレタック®G　2.0kg／m²
    セレタック®S　2.5kg／m²
    セレタック®JWA　2.5kg／m²
- 荷重1kg、摩耗輪CS-17

●セレガードDS®とセレタック®Sとの付着強さ(B-DS工法)

項目	試験結果
耐久性試験後※	1.8N/mm²

【試験方法】
- 養生条件／20℃　65%RH
- モルタル板(70×70×20mm)にセレガードDS®(1.5kg/m²)を塗布し、24時間後にショウワカチオンプライマー2倍液(0.15kg/m²)を塗布し、指触乾燥後にセレタック®S(2.5kg/m²)を塗布、セレタック®S塗布後14日養生後、JIS A 6916 試験方法を参照

※10サイクル後に試験(水中浸漬　20℃×18時間→−20℃×3時間→50℃×3時間／サイクル)
試験機器:建研式引張試験機

※試験場所/株式会社レゾナック建材内試験室
※記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

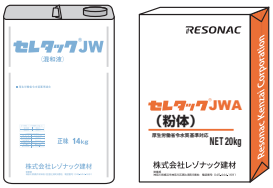
塗膜の水質

■セレタック®JWA

【試験内容】　水道施設の技術的基準を定める省令に基づく資機材等の材質に関する試験・コンディショニングあり
【試験場所】　一般社団法人東京都食品衛生協会　東京食品技術研究所

事項	単　位	分析結果	分析方法	浸出基準
カドミウム及びその化合物	mg/ℓ	0.0003未満	ICP-MS法	0.0003以下
水銀及びその化合物	mg/ℓ	0.00005未満	還元気化-原子吸光光度法	0.00005以下
セレン及びその化合物	mg/ℓ	0.001未満	ICP-MS法	0.001以下
鉛及びその化合物	mg/ℓ	0.001未満	ICP-MS法	0.001以下
ヒ素及びその化合物	mg/ℓ	0.001未満	ICP-MS法	0.001以下
六価クロム化合物	mg/ℓ	0.002未満	ICP-MS法	0.002以下
亜硝酸態窒素	mg/ℓ	0.004未満	IC法	0.004以下
シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/ℓ	0.001未満	IC-PC吸光光度法	0.001以下
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/ℓ	1.0未満	IC法	1.0以下
フッ素及びその化合物	mg/ℓ	0.08未満	IC法	0.08以下
ホウ素及びその化合物	mg/ℓ	0.1未満	ICP-MS法	0.1以下
四塩化炭素	mg/ℓ	0.0002未満	PT-GC-MS法	0.0002以下
1,4-ジオキサン	mg/ℓ	0.005未満	PT-GC-MS法	0.005以下
1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	0.0004未満	PT-GC-MS法	0.0004以下
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	0.004未満	PT-GC-MS法	0.004以下
ジクロロメタン	mg/ℓ	0.002未満	PT-GC-MS法	0.002以下
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	0.001未満	PT-GC-MS法	0.001以下
トリクロロエチレン	mg/ℓ	0.001未満	PT-GC-MS法	0.001以下
ベンゼン	mg/ℓ	0.001未満	PT-GC-MS法	0.001以下
ホルムアルデヒド	mg/ℓ	0.008未満	誘導体化-HPLC法	0.008以下
亜鉛及びその化合物	mg/ℓ	0.01未満	ICP-MS法	0.1以下
アルミニウム及びその化合物	mg/ℓ	0.02未満	ICP-MS法	0.02以下
鉄及びその化合物	mg/ℓ	0.03未満	ICP-MS法	0.03以下
銅及びその化合物	mg/ℓ	0.01未満	ICP-MS法	0.1以下
ナトリウム及びその化合物	mg/ℓ	2未満	ICP-MS法	20以下
マンガン及びその化合物	mg/ℓ	0.005未満	ICP-MS法	0.005以下
塩化物イオン	mg/ℓ	1.5	IC法	20以下
蒸発残留物	mg/ℓ	5未満	重量法	50以下
陰イオン界面活性剤	mg/ℓ	0.02未満	固相抽出-HPLC法	0.02以下
非イオン界面活性剤	mg/ℓ	0.002未満	固相抽出-HPLC法	0.005以下
フェノール類	mg/ℓ	0.0005未満	固相抽出-誘導体化-GC-MS法	0.0005以下
有機物［全有機炭素（TOC）の量］	mg/ℓ	0.3未満	全有機炭素計測定法	0.5以下
味	ー	異常なし	官能法	異常でないこと
臭気	ー	異常なし	官能法	異常でないこと
色度	度	0.5未満	透過光測定法	0.5以下
濁度	度	0.2未満	積分球式光電光度法	0.2以下
エピクロロヒドリン	mg/ℓ	0.01未満	PT-GC-MS法	0.01以下
アミン類	mg/ℓ	0.01未満	吸光光度法	0.01以下
2,4-トルエンジアミン	mg/ℓ	0.002未満	固相抽出-GC-MS法	0.002以下
2,6-トルエンジアミン	mg/ℓ	0.001未満	固相抽出-GC-MS法	0.001以下
酢酸ビニル	mg/ℓ	0.01未満	PT-GC-MS法	0.01以下
スチレン	mg/ℓ	0.002未満	PT-GC-MS法	0.002以下
1,2-ブタジエン	mg/ℓ	0.001未満	PT-GC-MS法	0.001以下
1,3-ブタジエン	mg/ℓ	0.001未満	PT-GC-MS法	0.001以下
N,N-ジメチルアニリン	mg/ℓ	0.01未満	PT-GC-MS法	0.01以下

製品一覧

分類	製品名	荷　姿	内　容	一般性状	色調（硬化後）	1セット（缶）当たり標準施工面積	
※Aタイプ（地上部位）	**セレタック®G** 	16kgセット（丸缶入り）	粉体 4kg袋×2袋	外観／灰色粉末 主成分／セメントモルタル粉末	茶褐色	A-1工法 A-2工法 A-3工法	8.0m²
						C-1工法 C-2工法	6.1m²
			混和液 4kg袋×2袋	外観／乳白色液体 主成分／アクリル･EVA系エマルション		C-3工法 C-4工法 C-5工法 C-6工法	4.4m²
		34kgセット	粉体 17kg袋	外観／灰色粉末 主成分／セメントモルタル粉末	茶褐色	A-1工法 A-2工法 A-3工法	17m²
						C-1工法 C-2工法	13m²
			混和液 17kg缶	外観／乳白色液体 主成分／アクリル･EVA系エマルション		C-3工法 C-4工法 C-5工法 C-6工法	9.4m²
※Bタイプ（地下･水槽部位）	**セレタック®S** 	34kgセット	粉体 20kg袋	外観／灰色粉末 主成分／セメントモルタル粉末	茶褐色	B−1工法 B−2工法 B−3工法 B-DS工法	13.6m²
			混和液 14kg缶	外観／乳白色液体 主成分／アクリル系エマルション			
	セレタック®JWA 	34kgセット	セレタック®JWA 粉体 20kg袋	外観／灰色粉末 主成分／セメントモルタル粉末	茶褐色	JWA工法	13.6m²
			セレタック®JW 混和液 14kg缶	外観／乳白色液体 主成分／アクリル系エマルション			
トップコート	**セレタック®トップコート** 	15kg缶		主成分／アクリル系エマルション	（標準色） グレー グリーン	A-2工法 C-4工法	75m²
	セレタック®トップコートS 	20kg缶		主成分／アクリル系エマルション （骨材入り）	（標準色） グレー グリーン	A-3工法 C-2工法 C-5工法	20m²
	セレタック®トップコートUV 	16kg缶	高耐候性 トップコート	主成分／反応硬化形 アクリルウレタン系 合成樹脂エマルション	（標準色） グレー グリーン	A-2工法	53m²

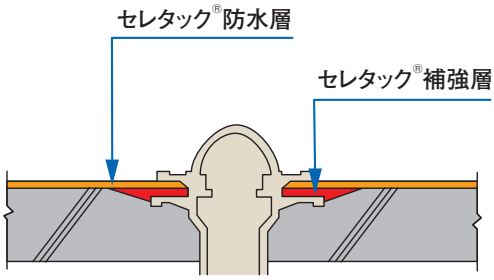
※日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説」の材料種別による

製品一覧

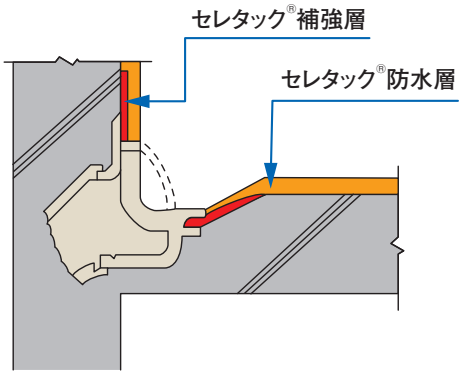
分類	製品名	荷　姿	内　容	一般性状	色調（硬化後）	1セット（缶）当たり標準施工面積	
プライマー	**ショウワカチオンプライマー**	4kg缶 16kg缶	セレタック®シリーズ共通プライマー	外観／微黄濁色液体 主成分／アクリル系エマルション	透明	4kg缶	53m²
						16kg缶	213m²
	ショウワJWプライマー	18kg缶	厚生労働省令対応プライマー	外観／白色にして均一な乳化液 主成分／アクリル系エマルション	透明	JWA工法	360m²
副資材	**セレタック®クロス**	100m／巻 （幅102cm）	補強材	合成樹脂不織布		C−1工法 C−2工法 C−3工法 C−4工法 C−5工法 C−6工法	91㎡ （重ね幅50mm×4辺の場合）
	ショウワ厚付®	25kg袋	保護モルタル	一材型ポリマーセメントモルタル	B−2工法	3mm厚さ	4.3m²
	ショウテック®早強#200	25kg袋	保護モルタル、下地補修材	急硬高強度 プレミックスモルタル	B−3工法	5mm厚さ	2.6m²
	ペタルス®WP	4kg缶 18kg缶	ショウテック®早強専用混和材	アクリル系エマルション	B−3工法	4kg缶 18kg缶	8.3㎡ 37.5㎡
	ショウワ止水剤	20kg缶	急結止水セメント				
	ストッパ	500個／箱	木コン穴埋め用セメント成型体				
	セレガードDS®	25kg袋	セレタックSとの複合工法で使用	ケイ酸質塗布防水材	B−DS工法		16.6㎡

各部納まり図例

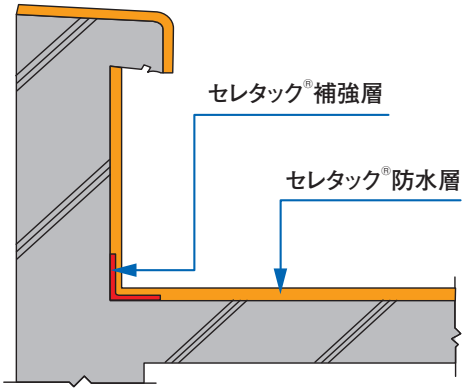
ドレン回り（縦引き）



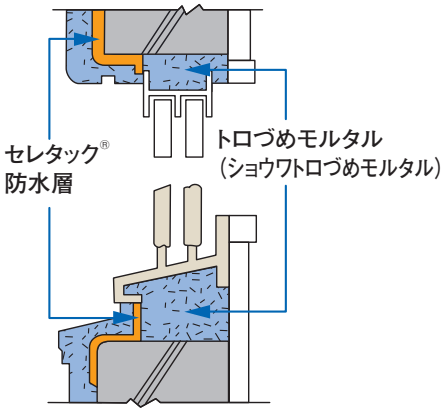
ドレン回り（横引き）



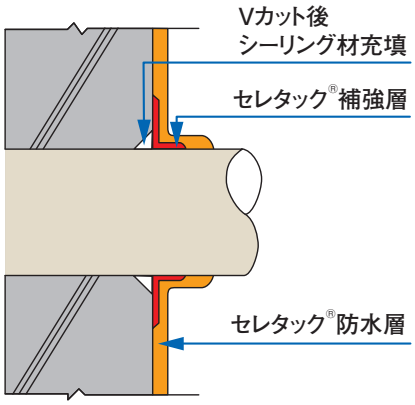
パラペット部



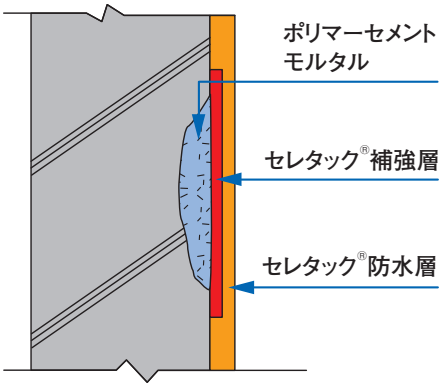
サッシ回り



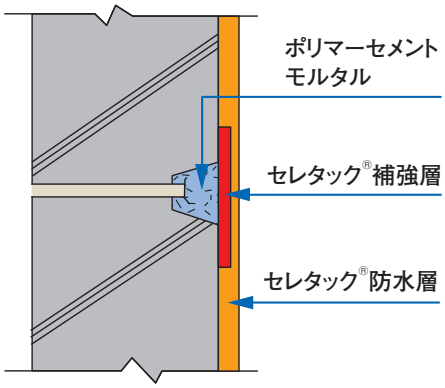
貫通パイプ回り（同時打ち）



ジャンカ



木コン



Memo

注意事項

〈施工上の注意〉
●気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適当な保温、採暖を行ってください。
●施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
●現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
●セメント製品に特有の現象である白華（エフロ）が発生することがありますが、品質に異常はありません。
●水槽として使用する場合、水質がアルカリ性にふれる場合があるため、使用前に水張りをしてあく抜きを2回程度行ってください。

〈使用上の注意〉
●取扱い時は、必ず保護具（保護手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用してください。
●取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
●取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
●取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

〈応急処置〉
目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
皮膚に付着した場合：直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
誤飲した場合：多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈保管上の注意〉
〔粉体〕
●雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
●ご購入された製品は製造日から4ヶ月以内にご使用ください。
〔混和液、プライマー、トップコート〕
●凍結や直射日光を避けるために必ず室内(5～40℃)に保管してください。
●開封後の使用残は密封した状態で保管してください。

〈輸送上の注意〉
●粉体、混和液とも内容物の漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
●湿気、水漏れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉
●都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

〈漏出時の注意〉
●飛散した粉体は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
●流出した混和液を流路を毛布、土壌等を用いてせき止め、バキューム等で吸い上げるか、少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収し焼却してください。
●粉体が混合した排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

〈環境への配慮〉
●混和液が海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域へ流出すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、絶対に破棄したり誤って流入させないでください。万が一流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。
また、地下水を汚染するおそれのある地中には捨てないでください。

このカタログの記載内容は24年10月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート（SDS）をご参照ください。

株式会社レゾナック建材

■本社・営業部
〒221-8517
横浜市神奈川区恵比須町8番地
TEL(045)444-1691
FAX(045)444-1699
https://rkc.resonac.com/dobokuzai_kp/

■仙台営業所	〒983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14	TEL (022) 742-5077	FAX (022) 291-1911
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄3-11-23	TEL (052) 249-3151	FAX (052) 249-3152
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL (06) 6100-2202	FAX (06) 6100-1232
■福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-17-1	TEL (092) 577-1205	FAX (092) 577-1206
■関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住関屋町1-4	TEL (03) 3881-5001	FAX (03) 3870-3952
■東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL (022) 231-2070	FAX (022) 231-2073
■中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市西区十方町172	TEL (052) 501-2421	FAX (052) 501-2424
■関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL (072) 641-6399	FAX (072) 641-6401

[■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所]